

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-31606

(43)公開日 平成11年(1999) 2月2日

(51)IntCl<sup>6</sup>

H01C 10/10

識別記号

F I

H01C 10/10

A

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平9-202437

(22)出願日 平成9年(1997) 7月11日

(71)出願人 000215833

帝国通信工業株式会社

神奈川県川崎市中原区荻宿335番地

(72)発明者 小泉 敏

神奈川県川崎市中原区荻宿335番地 帝国  
通信工業株式会社内

(72)発明者 大井 義積

神奈川県川崎市中原区荻宿335番地 帝国  
通信工業株式会社内

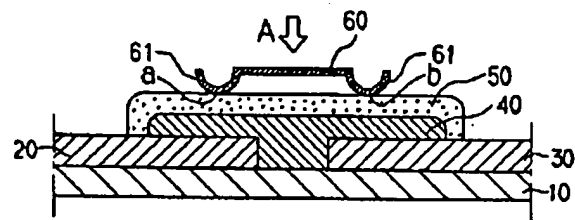
(74)代理人 弁理士 熊谷 隆 (外1名)

(54)【発明の名称】 可変抵抗器

(57)【要約】

【課題】 耐久性が高く、高寿命化が図れ、構造が簡単で製造が容易で薄型化・小型化も図れる可変抵抗器を提供する。

【解決手段】 2つの導体パターン20、30間を抵抗体パターン40にて接続し、抵抗体パターン40上に感圧抵抗膜50を形成し、感圧抵抗膜50上に2つの押圧部61、61を具備する短絡部材60を載せる。短絡部材60を押圧することで押圧部61、61によって押圧された感圧抵抗膜50部分a、bの厚み方向の抵抗値を変化させることで、2つの導体パターン20、30間の抵抗値を変化する。導体パターン20、30と抵抗体パターン40と感圧抵抗膜50は、何れもフレキシブル基板10上に印刷形成される。



10 フレキシブル基板 20、30 導体パターン 40 抵抗体パターン  
50 感圧抵抗膜 60 短絡部材 61、61 押圧部

本発明の第一実施形態

